

資料編

- I SDGsの17のゴール
- II 策定経過
- III 策定体制
- IV 諮問・答申
- V 各施策・事業の評価等
- VI 成果指標一覧
- VII 用語解説一覧

資料編

I SDGsの17のゴール

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>目標1 貧困 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>目標2 飢餓 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>目標3 保健 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>目標4 教育 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>目標5 ジェンダー ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>目標6 水・衛生 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>目標7 エネルギー すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>目標8 経済成長と雇用 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>目標9 インフラ、産業化、イノベーション 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>目標10 不平等 各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>目標11 持続可能な都市 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>目標12 持続可能な消費と生産 持続可能な生産消費形態を確保する</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>目標13 気候変動 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>目標14 海洋資源 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>目標15 陸上資源 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>目標16 平和 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>目標17 実施手段 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>		

Ⅱ 策定経過

1 総合政策審議会

開催状況

回数	開催日	内容
第1回	R4. 5.20	①総合政策審議会の設置 ②第3次総合計画策定方針について ③市民意向調査の結果について ④本市の財政状況について ⑤市政運営に関する意見交換について
第2回	R4. 7. 5	①人口フレーム・将来人口について ②本市の現状と課題について ③第3次総合計画基本理念、将来像の検討について
第3回	R4.10.12	①第3次総合計画・基本構想（骨子案）について ②基本構想骨子を踏まえた重点戦略について
第4回	R4.11.29	①第3次総合計画・基本構想（素案）について ②第3次総合計画・基本計画重点戦略（素案）について
第5回	R4.12.22	①第3次総合計画・基本構想（素案）について ②第3次総合計画・基本計画（素案）について
第6回	R5. 1. 6	①第3次総合計画・基本構想（素案）及び基本計画（素案）に関する答申書（案）について（書面決議）

2 那須烏山市議会及び庁内組織

開催状況

開催日	会議等名	内容
R4. 3.23	政策調整会議	①第3次総合計画策定方針について
R4. 3.29	庁議	①第3次総合計画策定方針（決定）
R4. 9.20	政策調整会議	①第3次総合計画・基本構想（骨子案）について
R4. 9.26	庁議	①第3次総合計画・基本構想（骨子案）について（経過報告）
R4.11.24	政策調整会議	①第3次総合計画・基本構想（素案）について ②第3次総合計画・基本計画（骨子案）について
R4.11.29	庁議	①第3次総合計画・基本構想（素案）について ②第3次総合計画・基本計画（骨子案）について
R4.12. 5	議員全員協議会	①第3次総合計画（素案）について
R4.12.21	政策調整会議	①第3次総合計画（素案）について
R5. 1.10	庁議	①第3次総合計画（原案）（決定）
R5. 2.15	庁議	①パブリックコメントの結果及び第3次総合計画（案）決定
R5. 2.21	議員全員協議会	①第3次総合計画（案）について
R5. 2.28	令和5年第1回 市議会3月定例会	①第3次総合計画・基本構想（原案可決）

3 市民参画

(1) 市民意向調査の実施 令和3年11月実施

(2) パブリックコメントの実施

①基本構想 令和5年1月16日（月）から令和5年2月14日（火）まで

②基本計画 令和5年1月16日（月）から令和5年2月14日（火）まで

(3) 市民・市民団体等との意見交換

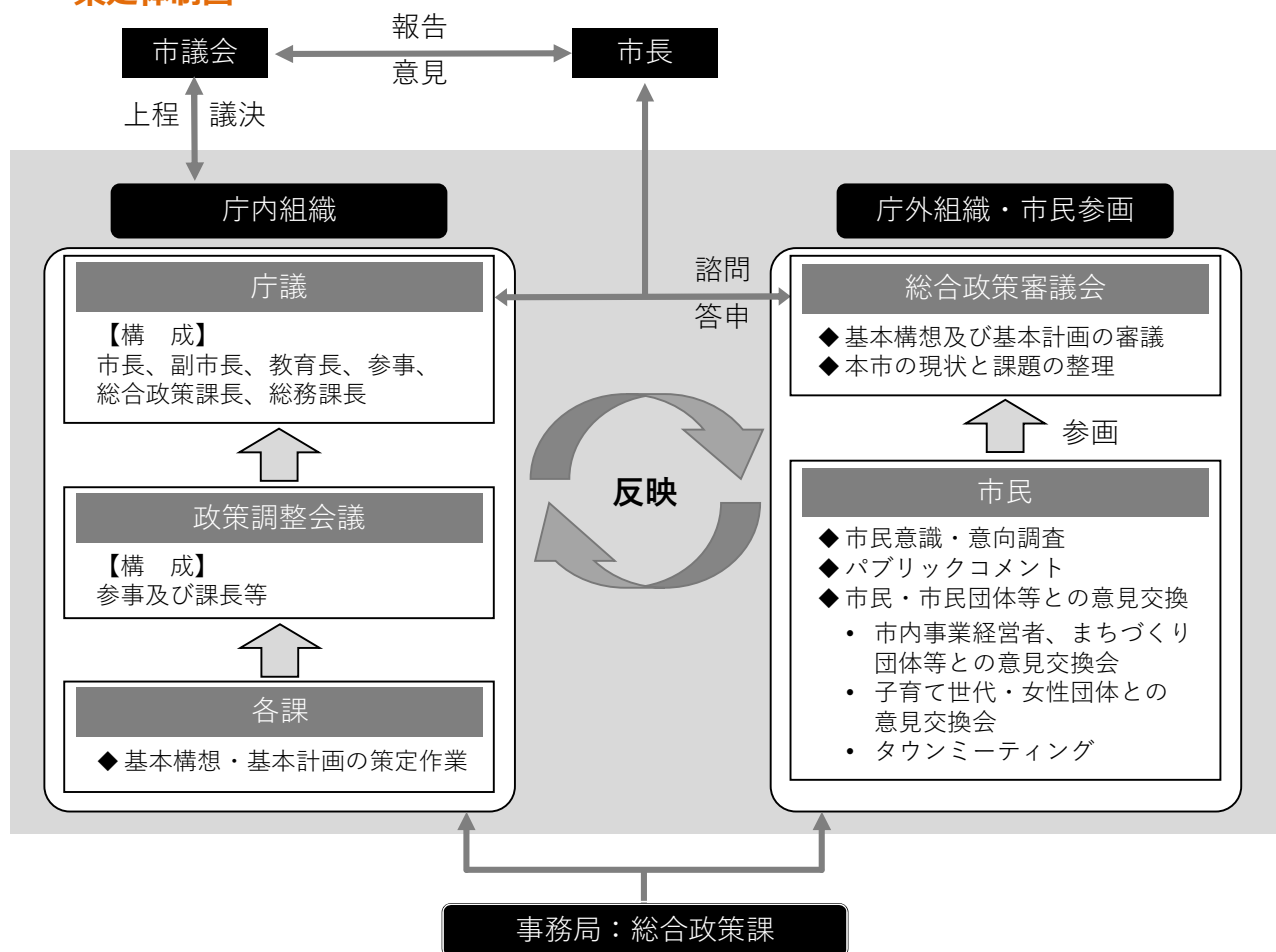
①市内事業経営者、まちづくり団体等との意見交換会 令和4年4月、5月実施

②子育て世代・女性団体との意見交換会 令和4年6月、9月実施

③タウンミーティング 令和4年9月、10月実施

Ⅲ 策定体制

策定体制図



総合政策審議会委員名簿（任期：令和4年5月20日～令和6年3月31日）

区分	氏名	備考
会長	中村 祐司	1号委員 学識経験者
職務代理	島崎 健一	3号委員 その他市長が適当と認める者（観光分野）
委員	赤羽 幸雄	2号委員 公募により選考した者
委員	中村 泉	2号委員 公募により選考した者
委員	高橋 正泰	2号委員 公募により選考した者
委員	渡邊 和枝	2号委員 公募により選考した者
委員	小田戸 豊行	3号委員 その他市長が適当と認める者（福祉分野）
委員	高橋 信一	3号委員 その他市長が適当と認める者（農業分野）
委員	加藤 光一	3号委員 その他市長が適当と認める者（商工分野）
委員	大嶋 照夫	3号委員 その他市長が適当と認める者（教育分野）
委員	小堀 恵美子	3号委員 その他市長が適当と認める者（女性団体）
委員	大橋 誠	3号委員 その他市長が適当と認める者（まちづくり分野）
委員	水井 智久	3号委員 その他市長が適当と認める者（金融分野）
委員	保知 範繁	3号委員 その他市長が適当と認める者（金融分野）
委員	佐藤 哲男	3号委員 その他市長が適当と認める者（金融分野）

IV 諮問・答申

【諮問書】

那烏総政第31号
令和4年5月20日

那須烏山市総合政策審議会長 様

那須烏山市長 川 俣 純 子

那須烏山市第3次総合計画について（諮問）

標記の件について、那須烏山市総合政策審議会設置及び運営条例（平成17年10月那須烏山市条例第54号）第3条の規定に基づき、下記のとおり審議くださるよう貴審議会に諮問いたします。

記

審議内容

- （1）那須烏山市第3次総合計画基本構想について
- （2）那須烏山市第3次総合計画基本計画について

【答申書】

令和5年1月6日

那須烏山市長 川 俣 純 子 様

那須烏山市総合政策審議会
会長 中 村 祐 司

那須烏山市第3次総合計画基本構想（素案）及び基本計画（素案）
について（答申）

令和4年5月20日付け那烏総政第31号で諮問のあった「那須烏山市第3次総合計画基本構想」及び「那須烏山市第3次総合計画基本計画」について、審議を重ねてまいりました結果、別紙答申書のとおり那須烏山市総合政策審議会（以下「審議会」という。）としての意見・要望等をまとめましたので答申いたします。

答 申 書

那須烏山市を取り巻く社会・経済情勢につきましては、令和4年4月1日に施行された「過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、本市全域が過疎地域に指定されるなど人口減少・少子高齢化が著しく進行するとともに、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済の低迷や円安に伴う原油・物価の高騰、令和元年東日本台風からの復旧・復興、国土強靱化に向けた対応など数多くの課題が山積しています。

また、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）への取組や、脱炭素社会を構築するためのカーボンニュートラルの2050年実現に向けた取組など、新たな施策に対応していく必要があります。

令和4年5月に設置された当審議会では、こうした社会・経済情勢の中で、市民が期待する今後の新たなまちづくりについて、短期的・中期的・長期的な視点を持ちつつ、多面的な角度から慎重に審議を重ねた結果、基本的な考え方や方向性、さらにその内容について妥当であると認め、ここにその旨を答申します。

なお、審議の過程において、特に配慮し推進を図られるよう要望等のあった事項は、次のとおりです。

1 第3次総合計画基本構想（素案）について

（1）まちづくりの基本理念

- ◇2町合併後に初めて策定された那須烏山市総合計画（平成20年3月策定）以降、「みんなの知恵と協働による“ひかり輝く”まちづくり」という「まちづくりの基本理念」が踏襲されてきた。厳しい財政状況の下、人口減少・少子高齢化が進行する本市においては、地域コミュニティ機能の低下による地域活力の低迷が懸念されている。
- ◇こうした中、市民と行政が知恵を出し合い、ともに新たな“まち”を創り上げるという協働の意識は、今後のまちづくりにおいて必要不可欠な重要な要素であり、引き続き踏襲していくことが望ましいと考える。
- ◇一方、本市の身の丈を考慮すると、市民は“ひかり輝く”というよりは、ここに住んでいる市民の幸福度・満足度を最優先に考えた“持続可能なまち”を期待している。
- ◇全ての市民が将来にわたり住み続けたいと思う“持続可能なまち”に向け、市民と行政が共に知恵を出し合う“協働のまちづくり”を念頭に置いた取組を積極的に推進されたい。

（2）人口ビジョン

- ◇出生数が減少する一方、転出者数が増加するなど、人口減少に歯止めが掛からない状況が続いている。こうした傾向に加え、新型コロナウイルス感染症への不安による出生控えが影響し、令和2年の本市における合計特殊出生率は1.06であり、令和元年と比較し0.22も減少している。

- ◇一方では、新しい生活様式に対応した多様な働き方や新たなビジネスモデルを展開する企業誘致による働く場の確保や、転出傾向が顕著な市街地の再生を図ることで、賑わいの創出と併せ、転出抑制の効果が期待される。
- ◇将来人口の設定値に少しでも近づけるよう、「転出超過の抑制」と将来的な移住・定住に繋げる「交流人口・関係人口の増加」に向けた各種施策を積極的に展開するなど、効率的・効果的な取組を図りたい。

(3) まちの目指すべき将来像

- ◇那須烏山市が誕生して以降、人口減少の抑制に向けた各種取組が展開されてきたところであるが、将来の本市を支えていく子育て世代など多くの若者は、従来までの前例踏襲型の市政運営から一歩踏み出し、10年後・20年後の将来を見据えた新たなまちづくりを期待している。
- ◇まちづくりを進めて行く上では、多くの市民が市政運営に参画できる仕組みが必要不可欠であるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民から意見を聞く機会が不足するほか、市民がまちづくりに参画できる仕組み自体が希薄化するなど、問題点も指摘されている。
- ◇改めて、まちづくりの主役は市民であるという基本原則の下、10年後・20年後の将来を見据えた未来志向型の積極的な市政運営を進められたい。

(4) 将来都市構造

- ◇人口減少が進行して行く中、2つの都市核（烏山市街地・南那須市街地）を今後も引き続き維持して行くことは困難ではないかという意見がある。一方で、多くの市民からは、人口減少や超高齢化社会においても快適・便利で暮らしやすい、また環境にもやさしく都市経営コストの面からも持続可能な市街地の再生が求められている。
- ◇また、本市における公共交通網の核となるJR烏山線の存続がクローズアップされる中、市街地に立地するJR烏山駅及び大金駅周辺のハード整備は、存続に向けた重要な取組の一つでもある。
- ◇さらに、2町合併時の合意内容を尊重したまちづくりが進められてきた経緯も踏まえる必要がある。
- ◇人口減少や厳しい財政状況、市民ニーズを十分に踏まえつつ、2つの都市核に関する役割分担の明確化を図りながら、市域の一体的発展の形成に努められたい。

2 第3次総合計画基本計画（素案）について

(1) 総括的事項

- ◇5つの基本目標における「重点戦略」及び「分野別計画」の推進に際しては、政策の実現に向けた3つの基本姿勢「市民協働のまちづくり」「持続可能な財政運営」「広域的な自治体間の連携強化」を念頭に置き、本市の「まちの目指すべき将来像」の着実な実現に当たられたい。
- ◇重点戦略については、特に重点的かつ戦略的な取組として着実な履行が求められる。優先的な予算配分に努めるなど、積極的な事業展開を図られたい。
- ◇重点戦略の達成状況を示すKPIについては、適宜、進捗率を管理し、未達成の場合には、その要因を分析のうえ適切な改善策を講じるよう努められたい。

(2) 個別的事項

【基本目標1：未来につなぐ健やかな暮らしを支える】

- ◇地域共生社会の実現が全国共通の取組として推進されている。福祉に留まらない横断的な取組として積極的に推進されたい。
- ◇健康・長寿を推進して行く上では、スポーツを通じた健康づくりが欠かせない要素となる。「健康・長寿戦略」と「スポーツを通じた活性化戦略」の連携を図りながら、相乗効果の高い取組として推進されたい。
- ◇もっと女性が活躍できる機会を提供するなど、女性の活躍を後押しする取組を積極的に展開されたい。
- ◇どの世代においても孤独にさせない、市民に寄り添った施策の充実に努められたい。

【基本目標2：未来につなぐ学びを育む】

- ◇自分が生まれ育った郷土、住んでいる郷土に誇りと愛着を持てることがまちづくりにとっては重要である。こうした郷土愛を育む教育を積極的に進められたい。
- ◇生涯学習施設の充実を図り、ここを拠点に地域づくり、まちづくりで活躍する人材育成に積極的に取り組まれたい。
- ◇たとえば個人宅に保管されている貴重な文化財はまだあるはずである。掘り起こしに努め、その価値や重要性について周知・啓発を行うことも必要である。

【基本目標3：未来につなぐ賑わいを創出する】

- ◇稲作を中心とする土地利用型農業から園芸農業への転換が必要な時期に来ている。関係機関及び近隣市町を含めた広域的な取組として推進されたい。一方、本市の農業の主流は稲作であるため、耕作放棄地を抑制するという観点からも、引き続き対策を講じられたい。
- ◇稼ぐ農業への転換に向けて、収益性が高い農作物の生産性を高めることが必要であるが、同時に消費者と繋がる流通拡大策についても検討されたい。
- ◇通年を通じた観光客の確保を図るためには、個々が単独で推進しても効果は薄いと思われる。行政・民間事業者・観光協会の連携強化を図り、広域的な視点を持って取り組む必要がある。

【基本目標4：未来につなぐ安全・安心な暮らしを守る】

- ◇子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすいまちにしていくためには、ユニバーサルデザインへの配慮が必要不可欠である。各種施策の推進に際しては、ユニバーサルデザインへの配慮を念頭に推進されたい。
- ◇定住促進策として、市外に向けてPRすることも大切だが、市民は、市内に住む自分達の満足度・幸福度を高めるための取組を期待している。特に、老朽化した公共施設や都市基盤の再生については、行政の責務として着実に推進されたい。
- ◇JR烏山線の廃線を防ぐためにも、JR烏山駅及び大金駅周辺の整備は必要である。行政・市民・民間事業者・まちづくり団体等の参画による賑わい創出の拠点として再生して欲しい。

【基本目標5：未来につなぐ持続可能な行財政運営を築く】

- ◇歳出の抑制に向けた行財政改革の徹底は勿論のこと、あらゆる手法を活用した新たな歳入の確保に取り組むなど、財政運営の健全化に努められたい。
- ◇様々な行政課題が山積する中、NPO法人をはじめとするまちづくり団体や民間企業などの活動を積極的に支援し、「地域の担い手」を育成するとともに、多様な主体が相互に連携した協働のまちづくりの環境整備に取り組まれたい。
- ◇市では国が推奨するコンパクトシティに関する検討が進められているが、分散型地域社会でも快適に行政サービスを受けることが出来るよう、デジタル化の推進に努められたい。
- ◇自治会への加入者数が減少し、コミュニティ機能の維持が困難になっている。自治会をはじめとする地域活動の支援を講じられたい。

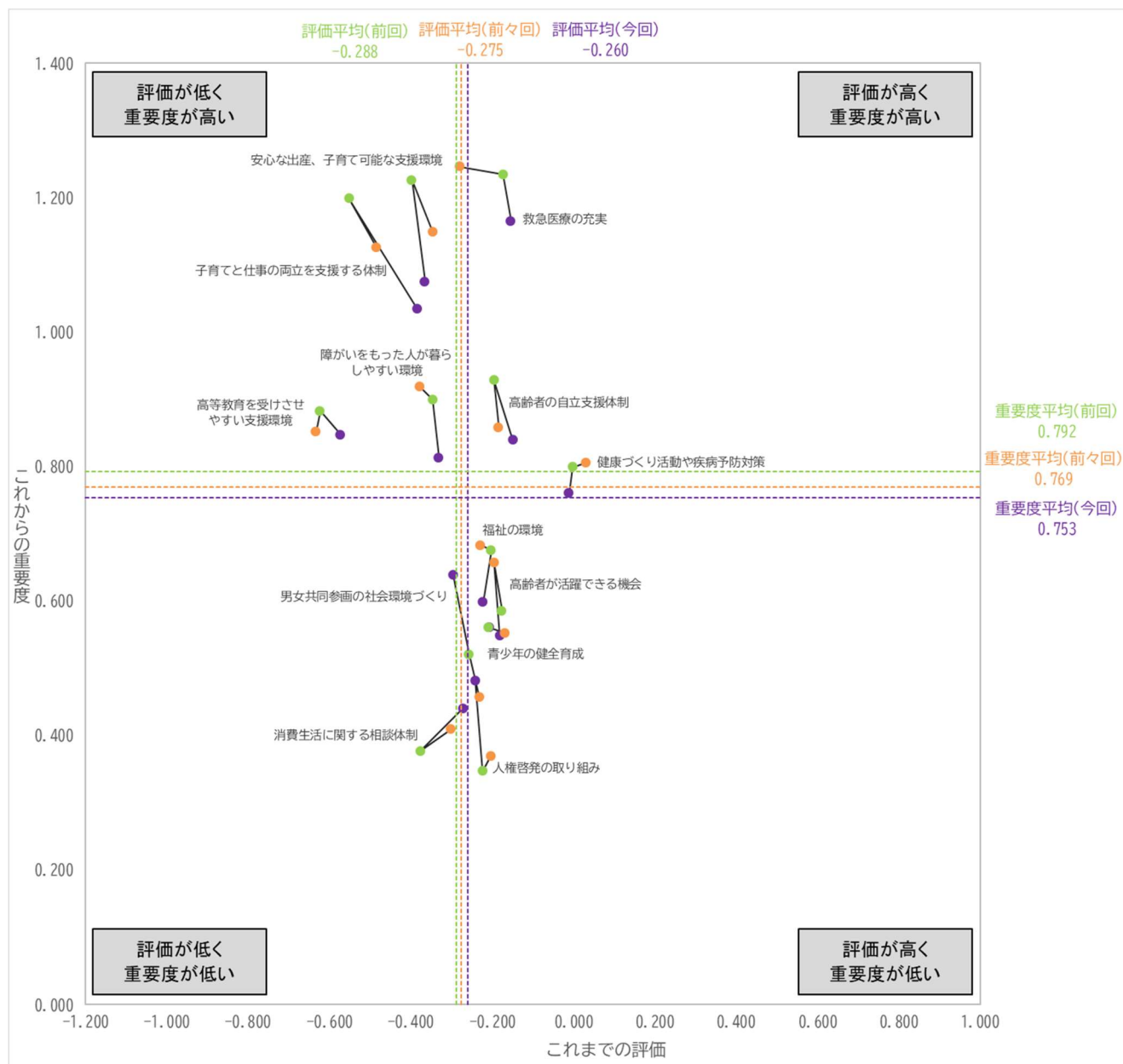
3 第3次総合計画の着実な実行について

- ◇本計画は、市民意向調査をはじめ、市内事業経営者、金融機関、市民団体との意見交換、そして当審議会やタウンミーティングの開催など、多くの方々の考えや意見等を取り入れながら、みんなの“知恵”と“協働”により丁寧な合意形成のプロセスを経て創り上げられて来た。
- ◇様々な課題が山積し、まちづくりが停滞する中、多くの市民がこうした閉塞感から一歩でも前に踏み出し、市民が期待する新たなまちに変わって行くことを大いに期待している。
- ◇こうした期待に応えるためにも、みんなの“知恵”と“協働”により創り上げた本計画を、着実かつスピード感をもって実行して行くことが何より重要となる。また、重点戦略をはじめとする各種取組の実行に際しては、本計画策定の際と同様に、市民の声に耳を傾けながら丁寧な合意形成に努める謙虚な姿勢を忘れてはならない。
- ◇市民が実感できる「未来志向型の積極的な市政運営」の実現に向け、「市民が主役」という原点の下、市民と行政が共に知恵を出し合いながら“協働のまちづくり”が進められることを切に願う。

V 各施策・事業の評価等

1 過去の調査結果との比較：各施策・事業の評価の相関

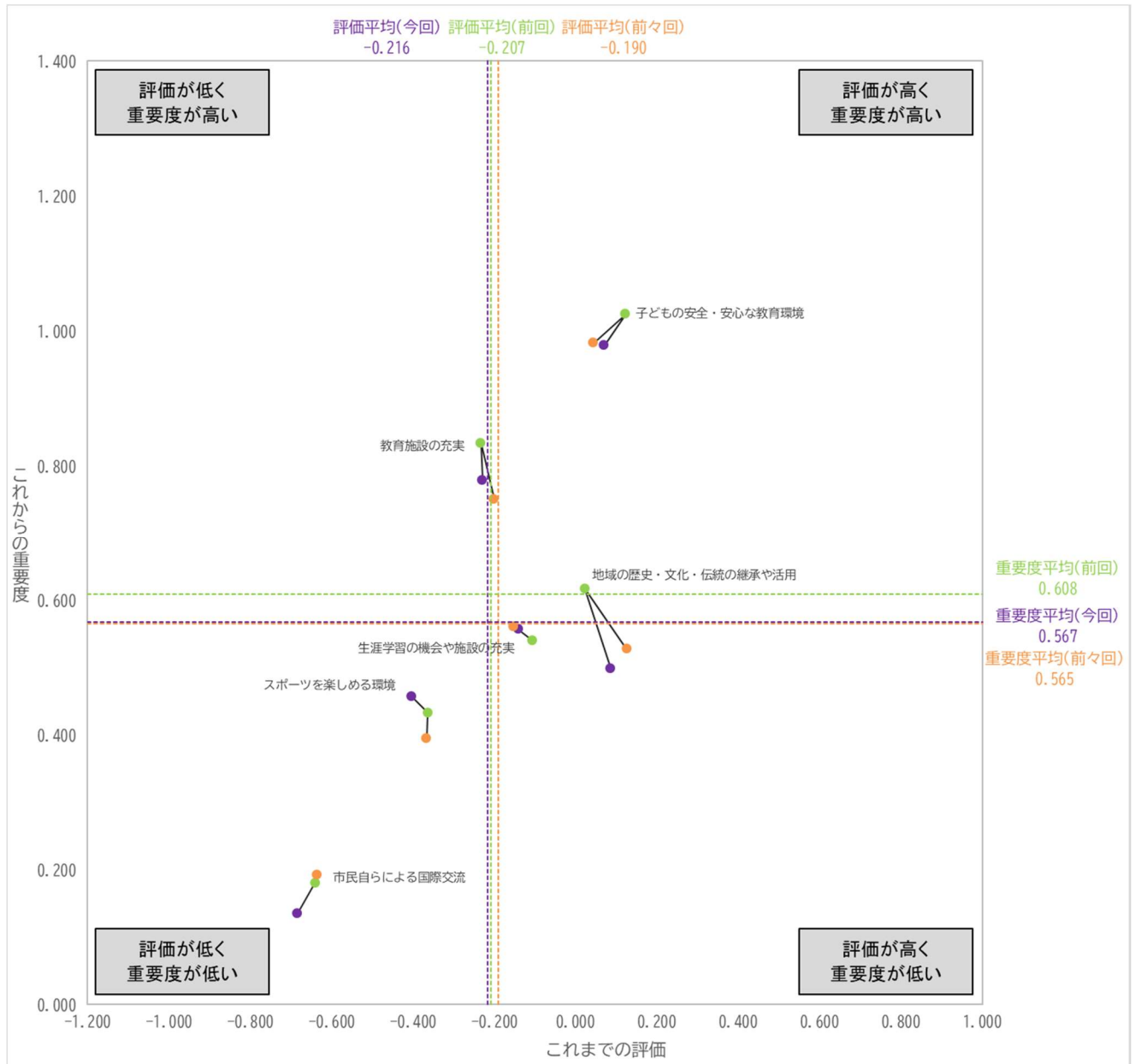
①健康・福祉分野



(結果概要)

- ・重要度が高い“子育てと仕事の両立を支援する体制”や“救急医療の充実”等については、今後も継続的な取組が期待される。

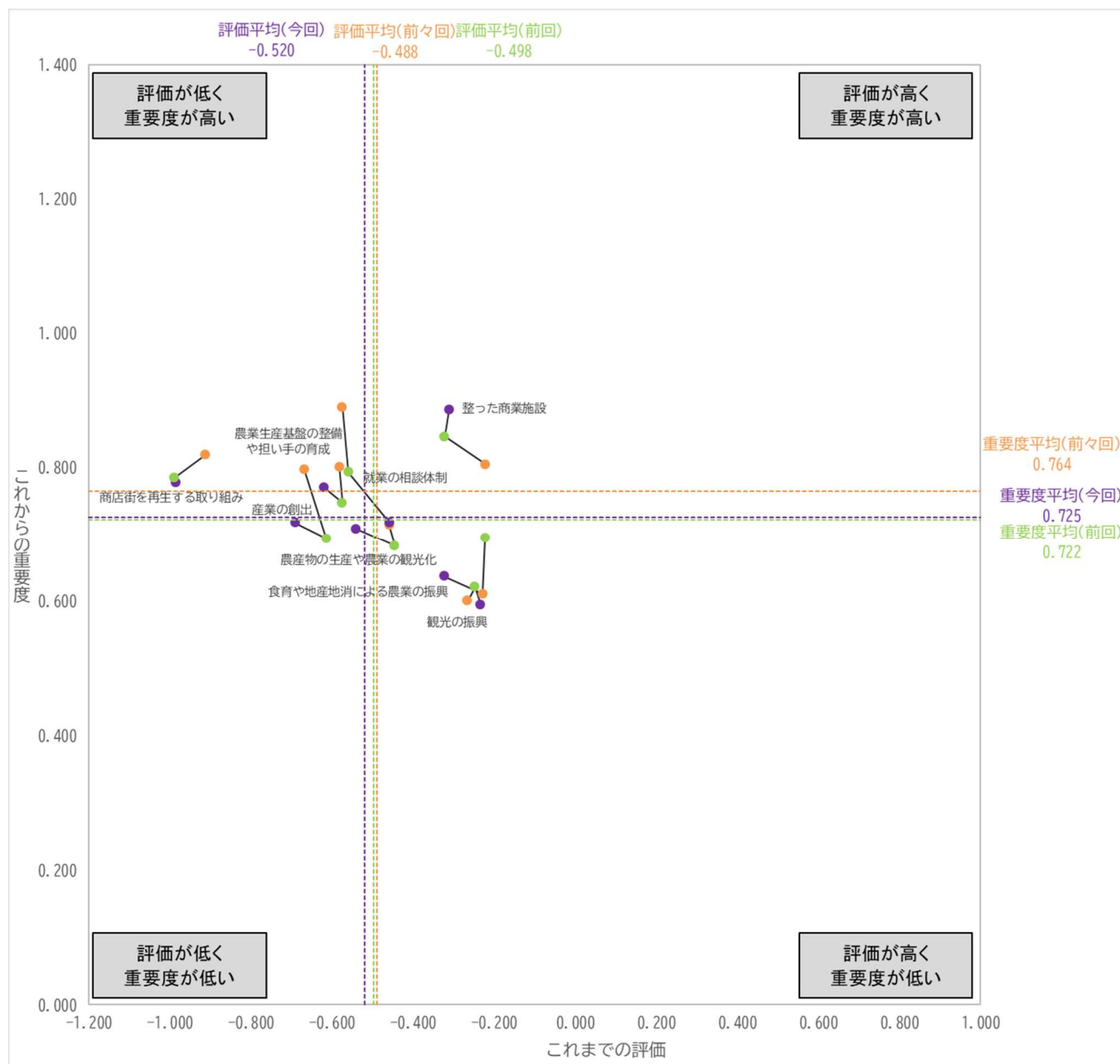
②教育・文化分野



(結果概要)

- ・一定して評価が高く、重要度が高い“子どもの安全・安心な教育環境”については、今後も継続的な取組が期待される。

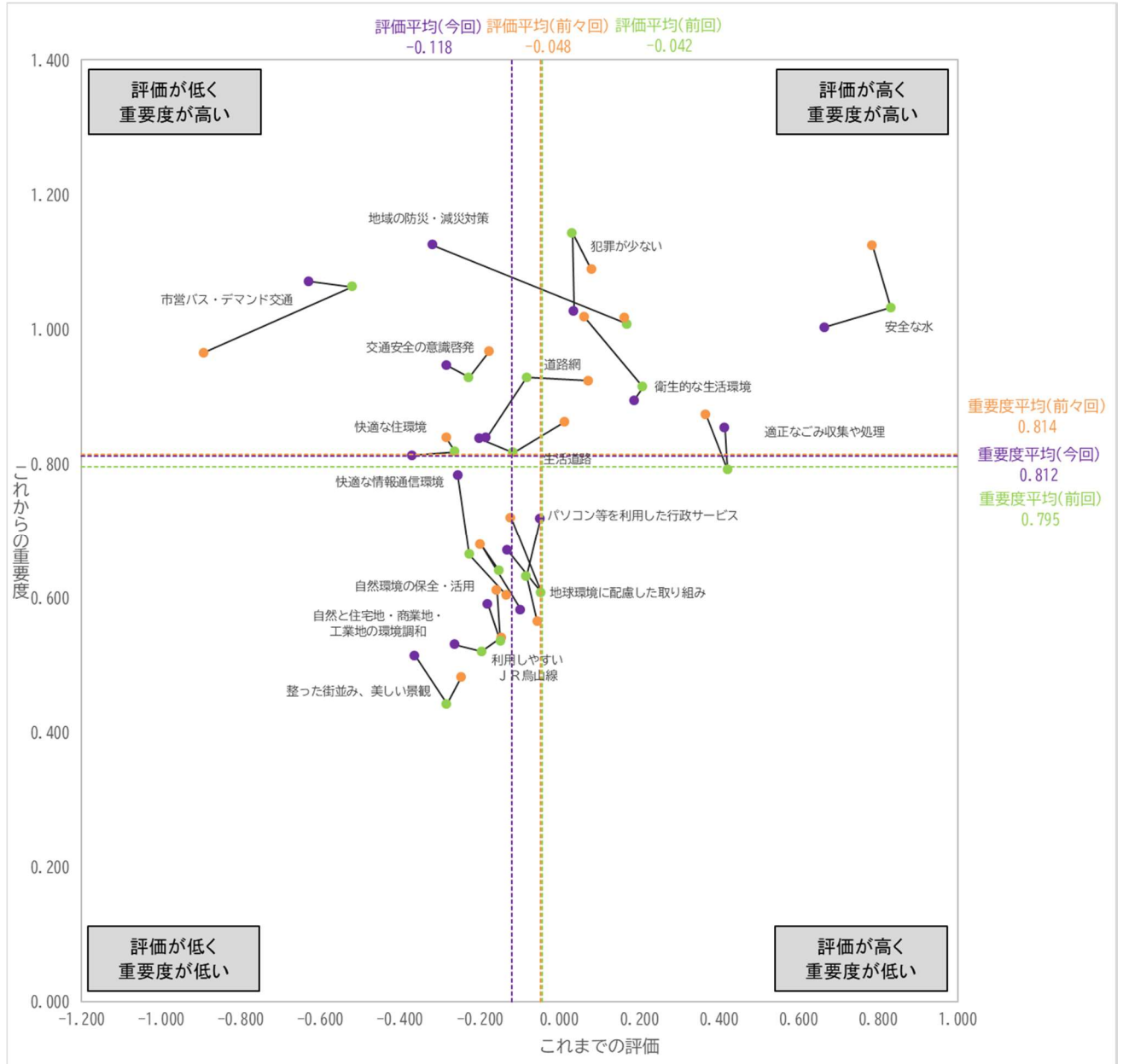
③経済産業分野



(結果概要)

- ・評価が低い“商店街を再生する取組”については、今後の積極的な取組が期待される。

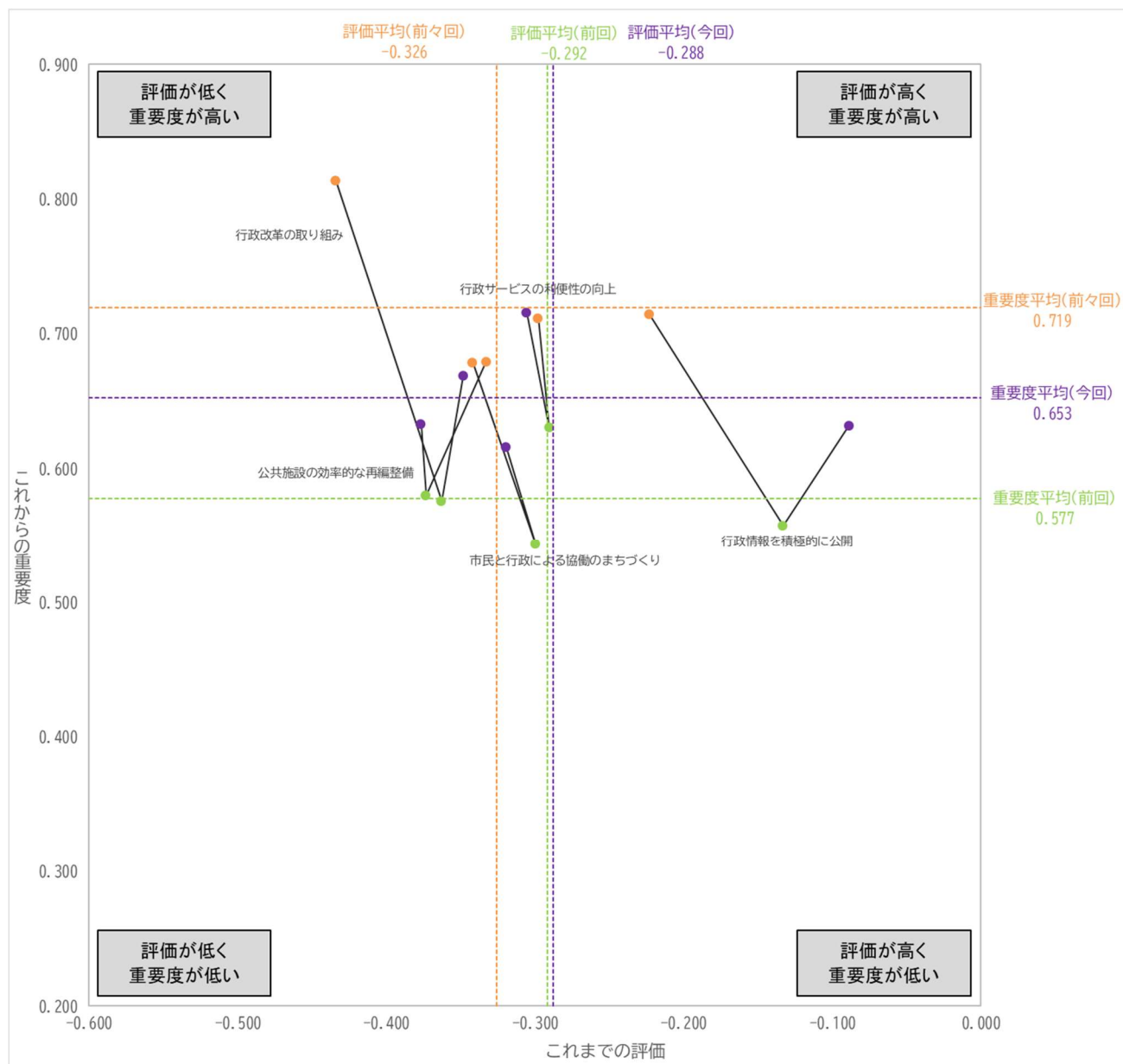
④住環境・都市基盤・防災・環境分野



(結果概要)

- ・ 前回よりも評価が下がり、重要度が上がった“地域の防災・減災対策”や“市営バス・デマンド交通”については、今後の積極的な取組が期待される。

⑤行政経営分野



（ 結果概要 ）

- ・ 全体的に評価平均、重要度平均ともに増加の傾向にある。

2 成果指標状況及び主な取組内容（第2次総合計画）

進捗率の算出方法

- ◎ 目標値に対する直近の実績値（令和3年度）の状況を進捗率とする。
- ◎ 達成できたものは100%とし、減少する目標値を設定したが、実績値が増加した成果指標の進捗率については、原則0%とする。

－基本目標1 安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり－

政策1-1 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
出生数（年間）	148人	93人	170人	54.7
合計特殊出生率	1.34	1.06	1.45	73.1

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
思春期ふれあい体験学習の実施校数（年間）	7校	7校	7校	100.0
結婚推進事業に伴う成婚件数（累計）	0件	0件	3件	0.0
子育て世代包括支援センターの設置・運営	設置	継続運営	継続運営	100.0
子育て世代包括支援センターにおける妊娠の早期届出の割合	94%	95%	98%	96.9
「ぴったりサービス」による電子申請機能数	3件	8件	12件	66.7
妊婦健康診査の受診回数	7.39回	7.77回	7.54回	100.0
乳児家庭戸別訪問事業の実施率	100%	99%	100%	99.0
保育園待機児童数	0人	0人	0人	100.0
公立保育園の統廃合による認定こども園の設置	0箇所	0箇所	1箇所	0.0
地域型保育事業所の整備数	2箇所	4箇所	3箇所	100.0
放課後児童クラブとの連携事業数	0事業	1事業	1事業	100.0
第3子以降の合計特殊出生率	0.24	0.3	0.26	100.0

政策1 - 2 健康・保健・医療の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
健康寿命の延伸(男)	77.40歳	79.16歳	77.96歳	100.0
健康寿命の延伸(女)	83.16歳	82.74歳	83.37歳	99.2
特定健診受診率(国民健康保険)	31.9%	33.0%	60.0%	55.0
一人当たりの医療費(国見健康保険)	350千円	360千円	347千円	0.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
健康づくり活動への参加率	13.9%	11.4%	20.0%	57.0
健康マイレージ事業達成者数	44人	91人	200人	45.5
自殺予防ゲートキーパーの養成講座回数(年間)	2回	1回	2回以上	50.0
重症化予防教室の参加率	20.7%	18.8%	25.0%	75.2
3歳児健康診査の受診率	95.0%	97.3%	98.0%	99.3
地域包括支援センター設置数	1箇所	2箇所	2箇所	100.0
地域包括支援センター相談件数(年間)	410件	2,091件	425件	100.0
那須南病院への婦人科の設置	未設置	未設置	設置検討	0.0
在宅医療に関する講演会・出前講座(年間)	8回	4回	10回	40.0
国民健康保険税の徴収率(現年分)	93.11%	96.05%	95%以上	100.0
国民健康保険財政調整基金	151,684千円	424,009千円	250,000千円	100.0
一人当たりの医療費(国民健康保険)	350千円	360千円	347千円	0.0
特定検診受診率(国民健康保険)	31.9%	33.0%	60.0%	55.0

政策1 - 3 障がい者・高齢者の福祉の充実

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
障がい者(児)の施設入所者の地域生活への移行者数(グループホームへの移行も含む)	0%	0%	3%以上	0.0
介護サービス利用者数	84.1%	87.1%	90.0%	96.8
一人当たりの医療費(後期高齢者医療)	691千円	705千円	684千円	0.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
令和4年度までの施設入所者数の削減率	0%	0%	1.5%以上	0.0
精神障がい者にも対応した保険・医療・福祉関係者による協議の場の設置	未設置	設置	設置	100.0
就労移行支援事業利用者数	6人	4人	7人	57.1
保育所等訪問支援を利用できる体制の構築	未設置	未設置	設置	0.0
医療的ケア児支援のための協議の場の設置	未設置	設置	設置	100.0
障がい者の余暇活動の実施（年間）	5回	0回	8回	0.0
生活支援コーディネーターの設置	0人	5人	1人	100.0
救急医療情報キット給付者数	665人	1,050人	755人	100.0
高齢者ふれあいの里数	12地区	16地区	15地区	100.0
いきいきサロン事業参加者数（延べ人数）	7,500人	2,273人	7,900人	28.8
健康長寿セミナー参加者数（年間）	1,693人	580人	1,800人	32.2
シルバー大学校入学者数（年間）	7人	3人	10人	30.0
介護予防サポーター数	40人	33人	50人	66.0
認知症地域支援推進員の設置	1人	3人	2人	100.0
認知症サポーター養成講座受講者数	4,600人	6,324人	5,800人	100.0
認知症初期集中支援チームの設置	未設置	設置	設置	100.0
一人当たりの医療費（後期高齢者医療）	691千円	705千円	684千円	0.0
健康診査受診率（後期高齢者医療）	46.40%	44.16%	48.00%	92.0

政策1-4 地域福祉の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
福祉に関する相談窓口開設数	2箇所	6箇所	4箇所	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
地域福祉計画推進委員会の開催	3回	2回	4回	50.0
小地域見守り活動の会議開催箇所数	93箇所	102箇所	102箇所	100.0
災害時要配慮者支援マニュアル	未策定	未策定	策定・運用	0.0
福祉に関する相談窓口開設数	2箇所	6箇所	4箇所	100.0
相談支援包括推進員の配置	0人	1人	1人	100.0

- 基本目標2 夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり -

政策2-1 学校教育の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
全国学力・学習状況調査(4項目目)の全国平均正答率を上回る項目数(小学6年生)	1項目／4項目	1項目／2項目	すべての項目で全国平均正答率を上回る	50.0
全国学力・学習状況調査(4項目目)の全国平均正答率を上回る項目数(中学3年生)	0項目／4項目	0項目／2項目	すべての項目で全国平均正答率を上回る	0.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
サタデースクール実施による学習理解度の向上	87.70%	-	-	事業廃止
中学生の実用英語技能検定合格率	35.8% 3級	69.6% 3級	50.0% 3級	100.0
教職員研修実施数	15回	20回	25回	80.0
不登校児童の割合	0.16%	1.15%	0.10%	0.0
不登校生徒の割合	1.60%	2.84%	1.00%	0.0
児童用のPC整備(1台あたりの利用者数)	6.6人	1人	3.6人	100.0
生徒用のPC整備(1台あたりの利用者数)	6.3人	1人	3.6人	100.0
電子黒板一台あたりの利用授業数	1.7回/日	-	-	タブレットPC整備により大型モニターとしての利用に変更
給食費の一般会計化	未実施	未実施	一般会計化	0.0
学校給食における地場農産物(栃木県産)の活用率	48.30%	58.10%	50.00%	100.0
奨学金の新規給付者数(年間)	9人	5人	9人	55.6
適応指導教室の整備	未整備	未整備	整備	0.0
烏山高等学校の定員に対する希望者の割合	0.90	1.00	1.00	100.0

政策2 - 2 生涯学習の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
生涯学習ボランティアの指導者数	32人	24人	40人	60.0
市立公民館の利用者数(年間)	64,000人	43,670人	71,000人	61.5
市立図書館の入館者数(年間)	99,940人	52,710人	110,000人	47.9
体育施設の利用者数(年間)	245,485人	123,191人	250,000人	49.3

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
市立公民館の年間当たりの利用者数	64,000人	43,670人	71,000人	61.5
図書館の貸し出し利用者数(年間)	48,242人	33,827人	68,500人	49.4
英会話教室の年間修了者のうち、観光ガイドコース修了者数	20人	67人	30人	100.0
国民体育大会実行委員会の設置	未設置	設置	設置	100.0
統合型地域スポーツクラブ準備委員会の設置	未設置	未設置	設置	0.0
体育施設整備及び長寿命化計画の策定	未策定	未策定	策定	0.0

政策2 - 3 文化の振興

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
ジオパーク普及啓発事業参加者数(年間)	490人	669人	800人	83.6
烏山城跡の国史跡指定	未指定	未指定	指定	0.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
ジオパーク普及啓発事業参加者数(年間)	490人	669人	800人	83.6
ジオ関連商品の創出数	0件	1件	5件	20.0
市文化祭来訪者数	1,180人	中止	1,500人	—
市文化祭満足調査	91.0%	中止	95.0%	—
移動音楽鑑賞教室	1回	中止	1回	—
市文化協会の団体数	58団体	43団体	60団体	71.7
埋蔵文化財確認調査件数	4件	10件	4件	100.0
文化財保護審議会開催回数	3回	3回	4回	75.0
烏山城跡の国史跡指定	未指定	未指定	指定	0.0
文化財周知イベント回数(年間)	3回	0回	4回	0.0

－基本目標3 地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり－

政策3 - 1 雇用の確保

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
有効求人倍率(年平均)	1.01	1.16	1.00以上	100.0
職場において男女が平等になっていると思う市民の割合	21.8%	23.0%	33.0%	69.7

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
合同就職説明会・面接会実施による雇用創出者数(年間)	10人	未実施	10人	－
地域おこし協力隊の導入数	3人	0人	8人	0.0
男女共同参画推進講座の開催(年間)	0回	0回	1回	0.0
政策・方針決定過程への女性参画率(地方自治法に基づく審議会・委員会等)	21.5%	25.7%	35.0%	73.4
企業向けセミナーの開催数(年間)	0回	1回	1回	100.0

政策3 - 2 農林水産業の振興

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
農業算出額	13,530 百万円	13,250 百万円	14,000 百万円	94.6

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
経営耕地面積	2,463ha	2,308ha	2,470ha	93.4
耕作放棄地面積	268ha	303ha	260ha	0.0
認定農業者数	196 経営体	178 経営体	210 経営体	84.8
新規就農者数	3人	4人	8人	50.0
農業経営の法人数	9法人	17法人	15法人	100.0
新規需要米作付面積	248ha	263ha	260ha	100.0
農林水産特産物認証数	1件	5件	5件	100.0
県営事業により新たに農地整備事業に取り組む地区(受益面積20ha以上)	0地区	1地区	3地区	33.3
イノシシの捕獲頭数(年間)	276頭	187頭	300頭	62.3
森林経営計画認定面積(年間)	1,914ha	1,834ha	1,930ha	95.0
那珂川水系産鮎放流量(年間)	5,602kg	3,175kg	6,000kg	52.9
外来魚等捕獲数(年間)	138kg	92kg	150kg	61.3

政策3 - 3 商工業の振興

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
年間商品販売額	22,086 百万円	31,431 百万円	22,000 百万円	100.0
製造品出荷額	53,763 百万円	63,641 百万円	55,000 百万円	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
事業所数	1,346 事業所	1,228 事業所	1,346 事業所	91.2
中小企業競争力強化支援事業による補助件数(年間)	2件	3件	2件	100.0
創業件数(年間)	4件	5件	4件	100.0
市外出店・イベント参加経費支援事業(年間)	5件	1件	5件	20.0
空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業(年間)	0件	2件	2件	100.0
プレミアム付商品券等の取扱店舗数	202件	206件	210件	98.1
なすからブランド認証件数	1件	20件	10件	100.0
企業立地支援制度による事業計画認定件数(年間)	1件	1件	2件	50.0
事業用地等情報制度による新規登録件数(年間)	0件	5件	2件	100.0

政策3 - 4 観光の振興

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
観光客入込数(年間)	523,018 人	252,131 人	700,000 人	36.0
宿泊者数(年間)	41,343 人	29,530 人	57,000 人	51.8

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
まちなか観光ネットワークの構築	構築	再構築	再構築	100.0
山あげ祭観光客数	12万人	無観客	15万人	—
烏山城跡の国史跡指定	未指定	未指定	指定	0.0
DMOの設立	0団体	0団体	1団体	0.0
観光協会一般会計事業収入	1,382 千円	3,090 千円	2,400 千円	100.0

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
山あげ会館入館料	2,041千円	624千円	3,750千円	16.6
観光ガイドの構築	未構築	未構築	観光ガイドの有償化検討	0.0
主要観光施設（山あげ会館・龍門ふるさと民芸館・大金駅前観光交流施設）の入込客数（年間）	54,010人	71,960人	70,000人	100.0
宿泊者数（年間）	41,343人	29,530人	57,000人	51.8
観光周遊バスの導入	未導入	未導入	導入検討	0.0

－基本目標4 定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり－

政策4 - 1 住環境の充実

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
人口純移動数	▲164人	▲152人	▲110人	72.4
JR烏山線平均通過人員（烏山駅から宝積寺駅）	1,488人/日	1,148人/日	1,500人/日	76.5

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
地籍調査進捗率	78.87%	79.07%	80.00%	98.8
立地適正化計画の策定	未策定	策定中	策定	0.0
都市マスタープランの改定	未実施	改定中	改定	0.0
地域公共交通網形成計画の策定	未策定	策定	策定	100.0
市営バス等の延べ利用人数（年間）	39,606人	26,630人	40,500人	65.8
デマンド交通の利用者数による地域内フィーダー系統確保維持事業目標達成状況	Cランク	Cランク	Bランク	0.0
JR烏山線の1日平均乗車数（烏山駅）	532人	428人	560人	76.4
空き家等に対する相談件数（年間）	3件	7件	10件	70.0
公営住宅で確保する世帯数	116世帯	112世帯	100世帯	89.3
市民主体の公園管理団体数	1団体	1団体	5団体	20.0
子育て世帯応援・IJU促進住宅取得奨励金申請件数（年間）	0件	12件	45件	26.7
住宅リフォーム助成金交付件数（年間）	40件	－	45件	事業休止
空き家等情報バンクによる成約件数（年間）	10件	10件	10件	100.0
移住等体験ツアー等の参加者（年間）	0人	0人	10人	0.0
ふるさと会事業への参加者数（年間）	20人	6人	40人	15.0

政策４－２ 道路交通網の整備

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
社会資本整備総合交付金事業（道路）による供用路線数	3路線	3路線	5路線	60.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
社会資本整備総合交付金事業（道路）の整備進捗率	20%	42%	60%	70.0
（仮称）道路施設等維持管理計画の策定	未策定	未策定	策定	0.0
ふれあいの道づくり事業参加人数	240人	250人	300人	83.3

政策４－３ 上下水道の整備

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
水道普及率	96.7%	96.8%	97.5%	99.3
生活排水処理施設普及率	57.3%	61.6%	64.0%	96.3

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
新水道ビジョン策定に係る個別計画策定	未策定	未策定	3個別計画策定	0.0
法非適簡易水道事業数	4事業	0事業	0事業	100.0
有収率の向上	67.8%	65.0%	70.0%	92.8
南那須処理区水洗化率	89.5%	92.0%	90.0%	100.0
烏山中央処理区水洗化率	36.2%	38.9%	40.0%	97.3
事業実施区域の水洗化率（農集）	88.5%	87.2%	90.0%	96.9
浄化槽普及率	29.0%	34.6%	34.0%	100.0

政策４－４ 地域情報化の推進

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
ホームページのアクセス（セッション）件数	295,780件	576,387件	300,000件	100.0
マイナンバーカード交付率	6.90%	34.4%	15.0%	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
オープンデータ化の推進	未実施	実施	実施	100.0
業務系ネットワークのクラウド化	導入決定	最適なクラウド化	最適なクラウド化	100.0
学校教育ネットワークのクラウド化	未導入	未導入	最適なクラウド化	0.0
統合型GISの導入	未導入	導入	導入	100.0
証明書コンビニ交付サービス導入	未導入	導入	導入	100.0
「ぴったりサービス」による電子申請機能数	3件	8件	12件	66.7

政策４－５ 消防・交通・防犯対策の推進

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
自主防災組織の防災訓練（年間）	14回	4回	15回	26.7
刑法犯認知件数（年間）	87件	67件	80件	100.0
交通事故発生件数（年間）	528件	410件	500件	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
消防団員の定員に対する充足率	95.0%	91.5%	96.0%	95.3
防火水槽設置又は更新（年間）	2基	2基	2基	100.0
自主防災組織の防災訓練（年間）	14回	4回	15回	26.7
備蓄品の確保数	500人分	325人分	2,000人分	16.3
業務継続計画及び福祉避難所行動計画の策定	未策定	未策定	策定	0.0
防災行政無線のデジタル化の移行可否も含めた防災情報システムの再構築	既存防災情報システム	検討中	再構築	0.0
自主防犯団体数	25団体	25団体	27団体	92.6
道路反射鏡の設置数（年間）	2基	5基	4基	100.0
運転免許証自主返納者支援事業による自主返納者（累計）	314人	718人	600人	100.0

政策4-6 自然・生活環境の保全

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
一般廃棄物の資源化率	17.1%	21.0%	18.0%	100.0
市民一人当たりのごみ排出量(1日当たり)	855.3g	940.0g	774.0g	0.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
第2次環境基本計画の策定	未策定	策定	策定	100.0
公害苦情処理件数(年間)	17件	15件	12件	80.0
市役所の温室効果ガスの総排出量の削減率(年間)	18%削減(H22基準)	7%削減(H29基準)	8%削減(H29基準)	87.5
ごみの減量化・資源化の市民出前講座(年間)	1回	1回	3回	33.3
ごみ分別アプリのダウンロード数(年間)	181件	531件	200件	100.0

- 基本目標5 市民と共に築く持続可能なまちづくり -

政策5-1 市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくり

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
那須烏山自治会連合会の設立	未設立	設立	設立	100.0
NPO法人数	10団体	9団体	12団体	75.0
集団広聴開催数(年間)	2回	2回	6回	33.3
ホームページのアクセス(セッション)件数	295,780件	576,387件	300,000件	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の活用	有	有	有	100.0
地域活動推進事業補助件数(年間)	17団体	4団体	19団体	21.1
花づくり事業参加団体数(年間)	15団体	11団体	17団体	64.7
地元金融機関等及び広域圏の連携市町村数	6団体	6団体	9団体	66.7
烏山高校生の市に愛着がある人の割合	-	99%	70%	100.0
ボランティア団体数	67団体	58団体	80団体	72.5
NPO法人数	10団体	9団体	12団体	75.0
効果的な情報発信体制の整備	未整備	未整備	整備	0.0
集団広聴開催数(年間)	2回	2回	6回	33.3

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
ホームページアクセス（ページビュー）件数	1,041,747件	1,821,786件	1,200,000件	100.0
定住特設サイトアクセス（ページビュー）件数	59,529件	43,297件	80,000件	54.1
総合戦略における重要業績評価指数（KPI）の達成度	66.7%	35.7%	100.0%	35.7
永年文書目録の整備	一部未整備	一部未整備	整備	0.0

政策5-2 行財政改革の推進

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
中長期財政計画による適正な予算規模	11,320 百万円	10,874 百万円	11,150 百万円	100.0
市税の徴収率（国民健康保険を除く）	84.5%	84.7%	94.0%	90.1

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
那須烏山市公共施設整備に関するガイドラインによる個別施設計画の策定	0件	4件	10件	40.0
公共施設等適正管理マネジメントシステムの導入	未導入	導入	導入	100.0
資産老朽化比率	—	未活用	活用	0.0
行政評価手法の実施	未実施	実施	実施	100.0
市単独補助金（当初予算額）	364 百万円	327 百万円	328 百万円	100.0
市単独交付金（当初予算額）	35百万円	37百万円	32百万円	0.0
使用料総額（当初予算額）	44百万円	30百万円	46百万円	65.2
手数料総額（当初予算額）	16百万円	13百万円	17百万円	76.5
経常収支比率	92.9%	83.8%	90.0%	100.0
財政調整基金	1,845 百万円	2,611 百万円	1,000 百万円	100.0
地方債残高	13,220 百万円	9,813 百万円	10,000 百万円	100.0
実質公債費比率	7.3%	6.4%	6.1%	95.3
将来負担比率	19.9%	0.0%	8.0%	100.0
庁舎整備基本構想の策定	未策定	策定中	策定	50.0
新たな定員適正化計画の策定	未策定	策定	策定	100.0
現年度課税分徴収率の向上	97.73%	98.72%	98.60%	100.0
滞納繰越分徴収率の向上	8.71%	3.65%	22.00%	16.6
ふるさと応援寄附金事業の寄附件数（年間）	532件	714件	1,000件	71.4

政策5-3 人材の育成・確保

【政策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
生涯学習ボランティアの指導者数	32人	24人	40人	60.0
ボランティア団体等のネットワーク化	—	ネットワーク化	ネットワーク化	100.0
職員の他団体との人事交流数(累計)	4人	24人	20人	100.0

【重点施策指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
福祉活動協力者育成研修	3回	5回	5回	100.0
ボランティア団体数(社会福祉協議会登録)	44団体	44団体	60団体	73.3
生涯学習ボランティアの指導者数	32人	24人	40人	60.0
栃木県次世代人材づくり事業等への参加者数(年間)	2人	0人	2人	0.0
生涯学習サークル・自主活動団体数	119団体	104団体	125団体	83.2
図書館ボランティアスキルアップ講座の実施(年間)	2回	0回	2回	0.0
職員研修の受講率(提携研修)	92.6%	90.3%	99.0%	91.2
人事評価システムによる適正運用	導入	人事評価システムによる運用	人事評価システムによる運用	100.0

3 成果指標状況及び主な取組内容（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）

進捗率の算出方法

- ◎ 目標値に対する直近の実績値（令和3年度）の状況を進捗率とする。
- ◎ 達成できたものは100%とし、減少する目標値を設定したが、実績値が増加した成果指標の進捗率については、原則0%とする。

－基本目標1 市における安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする－

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
一人当たり市民所得（県民経済計算より）	2,915千円	2,882千円	3,000千円	96.1

【KPI】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
新規事業用地登録件数（年間）	1件	5件	1件	100.0
ワーク・ライフ・バランス等に取り組む市内企業の認定数（累計）	－	0件	5件	0.0

－基本目標2 本市への新しいひとの流れをつくる－

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
人口純移動数	▲236人	▲152人	▲100人以内	65.8

【KPI】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
移住相談窓口における相談件数（年間）	158件	201件	180件	100.0
都市と農村との交流事業参加者数（年間）	62人	59人	500人	11.8
観光客入込数（年間）	495,713人	252,131人	700,000人	36.0

－基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる－

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
合計特殊出生率	1.39	1.06	1.42	74.6

【KPI】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
若者交流事業への参加者数(年間)	102人	中止	150人	－
出生数	138人	93人	126人	73.8
赤ちゃんの駅設置箇所数	－	2箇所	5箇所	40.0

－基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る－

【成果指標】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
人口純移動数	▲236人	▲152人	▲100人以内	65.8

【KPI】

指標	計画策定時の数値	R3年度実績値	R4年度目標値	進捗率(%)
公共交通機関の延べ利用人数(市営バス・デマンド交通)(年間)	34,746人	26,630人	35,500人	75.0
地域公共交通網形成計画の策定	未策定	策定	策定	100.0
小・中学生の実用英語技能検定の合格率(3級以上)	47.9%	59.5%	50%以上	100.0
高齢者ふれあいの里設置箇所数(累計)	14箇所	16箇所	18箇所	88.9
自主防災組織における防災訓練実施数(年間)	16回	4回	25回	16.0
国土強靱化地域計画の策定	未策定	策定	策定	100.0

VI 成果指標一覧

指標のうち、満足度指標は市民意向調査の回答割合によるものです。

※【満足度指標】：市民意向調査での設問「これまでの評価」における「十分評価・まあまあ評価・ふつう」の回答割合

【成果指標】：指標の前に○印があるものは総合戦略上の数値目標、無印は総合戦略上のKPI（重要業績評価指標）

－基本目標1 未来につなぐ健やかな暮らしを支える－

I 将来を担う子育て支援戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	安心して子どもを産み、育てることができる支援環境が整っていると思う人の割合	61.1%	64.8%
成果指標	○合計特殊出生率	1.06	1.20
成果指標	出生数	93人	120人

II 健康・長寿戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	健やかに生活できる健康づくり活動や疾病予防対策が図られていると思う人の割合	81.0%	83.8%
成果指標	高齢者ふれあいの里年間延べ利用者数	6,365人	15,000人
成果指標	健康マイレージ事業年間参加者数	91人	300人
成果指標	高齢者の公民館講座年間延べ受講者数	80人	88人
成果指標	第1号被保険者の要介護認定率	17.1%	18.3%

III 安心して暮らせる地域づくり・医療戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	介護支援や予防対策など高齢者の自立支援体制が整っていると思う人の割合	72.5%	75.8%
成果指標	認知症サポーター数（累計）	6,324人	7,800人
成果指標	相談支援包括化推進員数	0人	1人

IV 多様で柔軟な共生戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	男女が共に活躍できる社会環境づくりが浸透していると思う人の割合	67.6%	71.0%
成果指標	ワーク・ライフ・バランス等に取り組む市内企業の認定数（累計）	5件	20件

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
成果指標	政策・方針決定過程への女性参画率（審議会・委員会等への女性の登用率）	25.7%	35.0%

－基本目標2 未来につなぐ学びを育む－

I 地域と連携した学力向上戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	教育施設の充実が図られていると思う人の割合	69.4%	72.9%
成果指標	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査における質問紙調査（中学校）	45.2%	50.0%
成果指標	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査における質問紙調査（中学校）	89.2%	93.0%
成果指標	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査における質問紙調査（中学校）	84.4%	87.0%

II 生涯にわたる学び戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	生涯学習の機会や施設などの充実が図られていると思う人の割合	75.9%	79.3%
成果指標	市立公民館の年間延べ利用者数	43,670人	45,853人
成果指標	公民館講座の年間延べ受講者数	858人	875人
成果指標	図書館（電子図書館含む）の年間延べ貸出利用者数	33,827人	35,518人

III スポーツを通じた活性化戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	市民誰もがスポーツを楽しめる環境が整っていると思う人の割合	59.4%	63.3%
成果指標	アーチェリー体験会の年間延べ参加者数	23人	50人

Ⅳ 伝統・文化の活用・継承戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	地域の歴史・文化・伝統の継承や活用が図られていると思う人の割合	81.5%	84.4%
成果指標	史跡烏山城跡保存活用計画の策定	未策定	策定
成果指標	デジタル博物館への年間アクセス数（セッション数）	2,288件	10,000件

－基本目標3 未来につなぐ賑わいを創出する－

I 産業の育成による雇用創出戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	企業の誘致や大学等との連携により産業の創出が図られていると思う人の割合	44.4%	48.8%
満足度指標	就業のための相談体制が充実していると思う人の割合	57.4%	61.1%
成果指標	○創業支援等事業計画に基づく支援を受け新規に創業した件数	23件 (H30～R4年度)	25件 (R5～R9年度)
成果指標	企業立地支援制度による事業計画認定件数	10件 (H30～R4年度)	10件 (R5～R9年度)

Ⅱ 持続可能な農林漁業育成戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	農業振興に向けた農業生産基盤の整備や担い手の育成が図られていると思う人の割合	47.8%	52.6%
成果指標	担い手への農地集積率	35.3%	53.0%
成果指標	○新規就農者数	20人 (H30～R4年度)	20人 (R5～R9年度)

Ⅲ 選ばれる観光地域づくり戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	歴史文化資源や自然環境を活かした観光の振興が図られていると思う人の割合	65.0%	68.9%
成果指標	○年間観光客入込数	252,131人	450,000人
成果指標	年間宿泊者数	29,530人	45,000人
成果指標	主要観光施設（指定管理3施設）の年間入館者数	71,977人	134,750人

IV 移住・定住を促す魅力向上戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	快適に暮らすことができる住環境が整っていると思う人の割合	59.5%	63.4%
成果指標	〇人口純移動数	▲152人	▲100人以内
成果指標	都市と農村との交流事業年間延べ参加者数	59人	500人
成果指標	移住相談年間件数	201件	300件
成果指標	移住相談年間件数のうち実際に移住した人の割合	5%	8%

-基本目標4 未来につなぐ安全・安心な暮らしを守る-

I 地域ぐるみによる安全・安心戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	子どもや高齢者などが犯罪に巻き込まれる心配の少ない環境であると思う人の割合	78.0%	81.1%
成果指標	市内交通事故の年間発生件数	411件	400件
成果指標	高齢者地域見守りネットワーク参加組織数	131団体	155団体

II 災害に強い国土強靱化戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	大規模な自然災害への備えとして、地域の防災・減災対策が図られていると思う人の割合	63.0%	66.8%
成果指標	消防団員の定員に対する充足率	91.7%	93.0%
成果指標	自主防災組織の設立数	13組織	18組織
成果指標	新たな防災伝達システムの整備	—	整備

III 暮らしやすい都市再生戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	市営バス・デマンド交通など、高齢者や子どもが自家用車に頼らない移動手段が確保されていると思う人の割合	43.8%	48.2%
満足度指標	にぎわいのある商店街を再生するための取組が進められていると思う人の割合	28.2%	31.0%
成果指標	JR烏山線の平均通過人員	1,140人	1,400人

Ⅳ 環境に配慮した地域づくり戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	環境に配慮した取組が図られていると思う人の割合	76.7%	79.8%
成果指標	市役所における温室効果ガスの総排出量の削減率	7%	13%
成果指標	ごみの年間排出量	8,653 t	7,282 t
成果指標	水洗化率	85.3%	89.7%

－基本目標5 未来につなぐ持続可能な行財政運営を築く－

I 市政への市民参画戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	行政情報が積極的に公開されていると思う人の割合	75.9%	79.3%
満足度指標	市民と行政による協働のまちづくりが進んでいると思う人の割合	67.7%	71.1%
成果指標	市ホームページへの市民の年間アクセス数（セッション数）	105,003件	110,000件
成果指標	市公式SNS（LINE）の登録者数	8,269人	9,200人
成果指標	市政懇談会等（タウンミーティング等）への年間延べ参加者数	32人	170人

II 費用対効果の高い行財政戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	行政のスリム化など行政改革の取組が積極的に進んでいると思う人の割合	66.0%	69.3%
満足度指標	市役所等公共施設の効率的な再編整備が進められていると思う人の割合	62.4%	66.1%
成果指標	ふるさと応援寄付金事業の寄付額 ※市民からの寄附及び企業からの寄附を除いた額	17,976千円	50,000千円
成果指標	クラウドファンディングの活用	未実施	実施
成果指標	将来負担比率	0.0%	0.0%（維持）
成果指標	公共施設の延べ床面積の削減率 （H29～R9まで）	5.5%	10.0%以上
成果指標	市税徴収率（現年分＋滞納繰越分）	84.7%	88.0%

Ⅲ 利便性を高めるデジタル戦略

【指標】

種類	指標名	直近の実績値	目標値（R9年度）
満足度指標	パソコンや携帯電話を利用した行政サービスの利便性向上が図られていると思う人の割合	75.6%	78.6%
成果指標	コンビニエンスストア等による証明書等発行年間利用率	6.4%	15.3%
成果指標	eTAX経由による納税の利用率（現年分）	1.2%	10.0%

Ⅶ 用語解説一覧

用語解説一覧

ページ	【あ行】	
7	新しい資本主義	これまでの資本主義において生み出された様々な弊害（経済的格差や貧困の拡大、中長期的投資の不足、都市と地方の格差、気候変動問題等）をエネルギー源として捉え、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトに官民が連携し好循環を実現させることを目的とする経済政策。
7, 14, 20, 35, 54, 57, 71	新しい生活様式	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を取り入れた生活様式。
34, 48, 52	いちご一会とちぎ国体	第77回国民体育大会。2022年10月栃木県開催。本市はアーチェリー競技会の会場となった。
34, 48, 52	いちご一会とちぎ大会	第22回全国障害者スポーツ大会。2022年10月栃木県開催。本市はアーチェリー競技会の会場となった。
59	インバウンド	外国から日本を訪れる観光客。
12	ウッドショック	世界的な木材価格の高騰。
54, 57	園芸農業	野菜、果物、観賞用の花などを栽培し新鮮なものを需要の高い都市市場に提供することを目的とする農業。
ページ	【か行】	
4	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。産業活動により排出される二酸化炭素をはじめとする人為的な温室効果ガスの排出から、植林等の森林管理による温室効果ガスの吸収量を差し引いて合計を実質ゼロにすること。
4, 35	過疎地域	人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域。本市は、令和3年4月1日に旧烏山町地域が、令和4年4月1日に旧南那須町地域が過疎地域として指定された。
62, 66	合併処理浄化槽	トイレの汚水だけでなく、台所、風呂等の生活雑排水を微生物の働きなどを利用して浄化し、きれいな水にして放流するための浄化槽
14, 31, 49, 53, 58	烏山城跡	喜連川丘陵の一支脈に築かれた山城。空堀・土塁・石垣などの各遺構が良好な状況で現存する。令和4年12月16日に文化審議会にて国指定史跡に指定するよう文部科学大臣へ答申された。
14, 31, 49, 53, 58	烏山の山あげ行事	450年以上の伝統を誇る日本一の野外歌舞伎舞踊。昭和54年2月に国の重要無形民俗文化財に指定。平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録された。
67, 71	企業版ふるさと納税	企業が地方公共団体の地方創生の取組に対して寄付を行った場合に法人関係税を税額控除するもの。企業として地域振興やSDGsの達成などの社会貢献ができるほか、法人税の高い軽減効果を受けられるメリットがある。
47	義務教育学校	小中一貫教育の基本形として、一人の校長の下、一つの教職員組織がおかれ、義務教育9年の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校。心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことを目的とする。
33, 60, 63	共助	地域やコミュニティといった周囲の人たちと互いに助け合うこと。
36, 67, 68, 71	クラウドファンディング	「群衆（Crowd）」と「資金調達（Funding）」を合わせた造語で、インターネット上で不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、サービスや商品の趣旨・個人の想いに賛同した人から資金を集める方法。

47, 51	グローバル	「地球規模・世界規模（Global）」と「地元・地域（Local）」を合わせた造語で、国境を越えた地球規模の視野と、草の根の地域の視点で、様々な問題をとらえていこうとする考え方。
44	健康寿命	WHOが提唱した新しい指標で、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。
40	健康スポーツ	健康づくりのために行うスポーツ。散歩、ランニング、サイクリングなど。
52	健康二次被害	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、外出を控え、運動不足になったり、人との関わりが少なくなったりすることで起こる健康被害。
40, 41, 44	健康マイレージ	市民の特定健診・がん検診の受診率アップや健康づくりに取り組んでもらう動機づけを目的に実施される事業。健康診断の受診や市主催の対象事業に参加するなどの条件を達成してポイントを集めると景品をもらうことができる。
35	広域周遊観光	訪日外国人旅行者の滞在日数に合わせ、テーマやストーリー性に基づいた観光資源や観光地域を結び付けていく、複数の都道府県・地域をまたぐ観光。
68, 70, 71	公共施設マネジメント	行政経営の視点から公共施設等の適正な維持管理や計画的かつ効率的な統合・再整備等を進めていくこと。
20, 22, 23, 24, 25, 39, 40	合計特殊出生率	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値で、一人の女性が生涯の中で産む子どもの数の平均を表した指標。
33	公助	市町村や消防、警察、自衛隊といった公的機関による救助活動や支援物資の提供などの公的支援。
41, 44	高齢者ふれあいの里事業	地区の公民館等で地域の高齢者の介護予防のために地域の人たちがスタッフとなり、茶話会や軽体操、レクリエーション等を行い筋力低下・閉じこもり・認知機能の低下を予防する目的で定期的に実施する事業。
39, 60	国土強靱化	大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず、迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平時から構築していくこと。
47, 50	コミュニティ・スクール	学校運営協議会制度。学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組み。
8, 31, 61, 64, 65	コンパクトシティ	「コンパクト+ネットワーク」を基本とし、都市の中心部に行政、医療、教育、交通などの都市機能や居住を集約するとともに、交通のネットワークにより地域全体を結び、住民の利便性が高まり暮らしやすいまち。
ページ	【さ行】	
62, 66	再生可能エネルギー	太陽光や風力、地熱、水力、バイオマスといった地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギー。
57	サプライチェーン	商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れ。
46	ジェネリック医薬品	後発医薬品。先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられるため、先発医薬品に比べて薬価が安くなる。
46, 50	ジェンダー教育	性別にとらわれず、全ての人の人権を尊重する態度を育むための教育。
49, 53	ジオサイト	ジオパークのみどころであり、地球の活動がわかる地質や地形がある場所。地形、植生、古代から現代に至る人間の歴史や産業などの点で重要な場所。
53, 58	ジオパーク構想	Geo（地球・大地）とPark（公園）を組み合わせた造語。本市の地域遺産の保護と活用を図りながら地域の活性化と産業振興に資するために策定された構想であり、里山と里川の自然環境を背景としたジオパークを作ることを提唱している。
33	自助	自分自身の身の安全を守ること。この中には家族も含む。

31	自然環境保全地域	自然環境保全法及び都道府県条例に基づき指定されている、ほとんど人の手が加わっていない原生の状態が保たれている地域や優れた自然環境を維持している地域。本市では、小埴自然環境保全地域（荒川による浸食地形）、下川井自然環境保全地域（シモツケコウホネ生育地域）、松倉山自然環境保全地域（暖地性植物自生地）の3箇所が指定されている。
55, 56	指定管理	指定管理者制度に基づき、公共施設の管理・運営を、営利企業・財団法人・NPO法人などの団体に包括的に代行させること。
69, 71	情報リテラシー	情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力。
22, 24, 25	人口移動	地域間における、居住地変更を伴う人の移動。地域人口の変化に大きな影響を与える現象。
22, 25	人口置換水準	人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。
1, 4, 5, 20, 22, 23, 24, 25,	人口ビジョン	各地方公共団体における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示するもの。
36, 67, 70, 71	スクラップ&ビルド	行政機構における膨張抑制策の方法の一つ。組織等の新設に当たっては、同等の組織等の廃止を条件とすること。
58	スマート農業	ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。
62, 66	3R	Reduce（リデュース：ゴミを減らすこと）、Reuse（リユース：繰り返し使うこと）、Recycle（リサイクル：ゴミを資源として再利用すること）の3つのR（アール）の総称。
7, 65	ゼロカーボンシティ宣言	首長又は地方公共団体が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指すことを宣言すること。なお、排出実質ゼロとは、CO2などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。
ページ	【た行】	
67, 70	タウンミーティング	首長等が一般市民に対して行う対話型の集会。
62	脱炭素化	地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素などの排出量を実質ゼロにすること。
47	タブレット	画面にタッチして感覚的に操作できる、スマートフォンとパソコンの中間的な端末。ビジネスの打ち合わせから子どものお絵描き、電子図書の購読や動画の閲覧など幅広い場面で使われている。
59	地域おこし協力隊	都市部などから地方へ移住し、一定期間、国や地方自治体などから生活費などの支援を受けながら、地域活性化の活動を行い、その地域への定住・定着を図る取組。
61, 65	地域共助型生活交通	中山間地域や郊外集落等において、NPO法人等の地域団体が、営利とは認められない範囲の運送の対価によって自家用自動車を使用して旅客を運送する仕組み。
33, 41	地域共生社会	世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。
34, 41, 44	地域包括ケアシステム	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域に生活する高齢者の住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する体制・仕組み。
14, 55, 58	着地型観光	観光客の受け入れ先が、地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光の形態。
35	中山間地域	山間地及びその周辺の地域、そのほか地理的条件がわるく、農業をするのに不利な地域。山地の多い日本の中山間地域における農業は全体の約4割を占めており、大きな役割を果たしている。

14, 31	長者ケ平官衙遺跡	奥州征伐を終えた源義家が、強大な富と力を持つ長者の後患を恐れ、焼き滅ぼしたという長者伝説の残る遺跡。大規模な建物群が発見され、考古学史上注目を集める。
18	終の棲家	生涯を終えるまで生活する住まい。
55	デジタル周遊観光	アプリやデジタルチケットなどのデジタルツールを活用し、名所・旧跡の見学をするために複数の観光地を移動し宿泊地を変えていく観光。
55, 59	デジタル周遊ナビゲーション	スマートフォン用のアプリケーションを使用し、いつでもどこでも観光気分が味わえるシステム。また、行きたいスポット等の検索や目的地までのナビゲートも可能。
49, 53	デジタル博物館	歴史、文化財などの様々な資料をデジタルデータに変換して保管し、電子ネットワーク上で閲覧できる博物館。
60	デジタル防災行政無線	県及び市町村が「地域防災計画」に基づき、それぞれの地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的として、併せて、平常時には一般行政事務に使用できるデジタル方式の無線局。
6, 15, 62, 65	デマンド交通	電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。
8, 59, 69, 71	テレワーク	「離れて (Tele)」と「働く (Work)」を合わせた造語。ICT (情報通信技術) を活用した時間や場所にとらわれない柔軟な働き方。
14, 31	東山道跡	古代の行政区画の一つで都から各地を結ぶ主要な7つの幹線道路のうち、都と陸奥国とを結ぶ駅路跡 (道路)。本市とさくら市境にあり、現在も幅2メートルの直線的な小道として残っている。古代国家の交通体系や地方支配体制を具体的に示すものとして重要であることから国史跡に指定された。
12	特用林産物	主として森林原野において算出された産物で通常林産物と称するもののうち、一般用材を除く品名の総称。具体的には、キノコ類、栗、クルミ類の樹実類、漆や木ろうなどの樹脂類、蕨、わさびなどの山菜類、タケノコ、竹、木炭、などその範囲は極めて幅広い。
54, 57	土地利用型農業	水稻や麦など、面積当たりの収益は低いため、経営するには一定以上の面積が必要であるため、大型機械などを活用することで一人当たりの管理面積が大きい農業。
ページ	【な行】	
54, 58	農業公社	都道府県や市町村が、地域農業の発展と農業者の福利増進を目的として運営する公共企業体。
ページ	【は行】	
42, 46	パートナーシップ制度	同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQカップルに対して「結婚に相当する関係」とする証明書を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度。
60, 64	ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図。
45	8050問題	80歳代の親と50歳代の子どもを組み合わせによる生活問題。困窮するにつれて親の年金に生活を依存する状況に陥ったり、親が要介護状態になることで子どもが離職したりするなどの要因も、社会的な孤立や経済的な困窮の背景となっている。
67, 70	パブリシティ活動	マスコミに対する情報提供活動。組織が自組織の情報をマスコミに自主的に提供し、メディアを通じてニュースとして報道してもらう広報活動。
67, 70	パブリックコメント	基本的な施策等を計画決定する際に、事前に内容を公表し、広く市民の意見等を伺おうとするもの。
46	ハラスメント	「いやがらせ」や「いじめ」などの迷惑行為。属性や人格に関する言動により他者に不利益を与えたり不愉快にさせたり尊厳を傷つけること。
60	非常備消防	火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場に駆けつけ、消火活動等を行う消防団。

54, 57	ブランド認証制度	市の知名度向上とともに産業の振興及び地域の活性化を図るため、市独自の認証基準により認証する制度。
67, 71	ふるさと納税	個人が任意の自治体に寄附を行った場合に、寄附額の一部が所得税及び住民税から控除される制度。寄附額に応じて自治体からお礼として返礼品を受け取ることができる。
40, 46	フレイル予防	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階を指す。年齢を重ねていくと心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復する力が低下して健康に過ごしていた状態から要介護状態へと変化する。フレイル予防とは、心身の変化と向き合い予防に取り組むことで進行を緩め健康な状態に戻すための取組。
60, 64	防災集団移転	災害が発生した地域や災害危険区域のうち、居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団的な移転。
ページ	【ま行】	
8, 30, 61, 65	まちづくりブランドデザイン	まちづくりに関する壮大な図案・設計・着想。長年にわたって遂行される大規模な計画。
43	マッチングシステム	結婚を希望する独身男女の婚活につながるよう、新たな出会いの機会の提供や1対1の出会いをサポートする、とちぎ結婚支援センターによる会員登録制のシステム。
58, 59	メグロブランド	「メグロ」とは東京都品川区にて創業した目黒製作所の通称もしくは、目黒製作所が手がけていたバイクブランドのこと。目黒製作所が太平洋戦争時に工場を疎開したのが旧烏山町。町は、戦後の復興に伴うオートバイ市場の拡大を受け目黒製作所の生産拡大とともに「メグロ」の城下町として復興した。現在も「メグロ」の聖地として、イベントや名物等が続き生まれている。メグロブランドとは、明確な定義はないが、「メグロ」を扱ったもの（イベント、食、グッズ等）を総称した呼び名。
13	モータリゼーション	自動車利用が日常生活に広く普及し一般化すること。
ページ	【や行】	
40, 43	ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。
35, 61, 65	ユニバーサルデザイン	高齢者や身体障がい者という特定の人に限定せず、また、あらゆる体格、年齢、障がいの度合いに関係なく、できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間等をデザインすること。
35, 60	要配慮者	災害対策基本法の規定により「高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」と定義されている。「その他の特に配慮を要する者」とは、妊産婦、傷病者、難病患者、日本語を十分理解できない外国人等が想定される。
ページ	【ら行】	
8	零細企業	わずかな資本や設備で運営される規模の小さい企業。
34, 48, 52	レガシー	本来は「亡くなった人が残した遺産」を意味するが、派生的に「世代から世代へ受け継ぐものごと」をさす言葉として浸透した。
4	ローリング方式	現実と長期計画のズレを埋めるために、施策・事業を見直しや部分的な修正を、毎年転がすように定期的に行っていく手法。
58	6次産業化	1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との統合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。
ページ	【わ行】	
67, 70	ワークショップ	参加者が主体となる体験型講座（セミナー）を指す。

18, 42, 46	ワーク・ライフ・バランス	一人ひとりがやりがいや充実を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域社会においても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態のこと。
59	ワーケーション	Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。

ページ	【アルファベット】	
69, 71	A I	Artificial Intelligence（人工知能）の略。性能の向上により、コンピュータが「学ぶ」ことができるようになった。それが現在のA Iの中心技術となっている。A I技術の向上が、翻訳や自動運転、医療画像診断、囲碁といった人間の知的活動に大きな役割を果たしている。
46	D V (ドメスティック バイオレンス)	配偶者等の親密な関係にある、または親密な関係にあった人からの暴力。身体への暴力だけでなく身体的な暴力や経済的暴力、性的暴力がある。
71	D X	Digital Transformaitonの略称。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
69	e L T A X	Electronic（電子）、Local（地方）、Tax（税）からなる造語。地方税ポータルシステムの略称で、地方税における手続きを、インターネットを利用して電子的に行うシステム。
34, 48, 52	e スポーツ	広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般をさす言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った大戦をスポーツ競技として捉える際の名称。
35, 47, 50, 58, 69, 71	I C T	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。コンピュータやネットワークに関わるすべての技術を総称する言葉。
69, 71	I o T	Internet of Thingsの略で「もののインターネット」と呼ばれている。インターネットに接続されていなかったモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドと接続して相互に情報交換をする仕組み。
38	K P I	Key Performance Indicator（重要業績評価指標）の略。目標を達成するプロセスにおいて、達成度を計測したり、進捗管理したりするために設定する定量的な指標のこと。
7, 18, 33, 45, 67, 70	N P O	Non-Profit Organizationの略。ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体のこと。
56, 59, 67, 70	S N S	Social Networking Serviceの略。限られたユーザーだけが参加できるWebサイトの会員制サービスのこと。
71	S o c i e t y 5. 0	狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会。仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会。
59	U I J ターン	Uターン、Iターン、Jターンの総称で、大都市から地方への移住をさす。
11	W C S（稲発酵 粗飼料）	稲の米粒が完熟する前に穂と茎葉を同時に刈り取り、ロール状にした穂や茎葉をフィルムで包み込んで発酵させた粗飼料のこと。



那須烏山市

那須烏山市第3次総合計画

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

発行 那須烏山市

<https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp>

編集 総合政策課

〒321-0692 栃木県那須烏山市中央 1-1-1

T E L 0287-83-1112

E-mail sohgohseisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp